

マイクロソフト アカデミックライセンスのご紹介

マイクロソフト株式会社
パブリックセクター
パートナーソリューション本部

アカデミックライセンスのご紹介

アカデミックライセンスの種別

アカデミック パック



- 学生や生徒・教職員などの教育ユーザーの皆様に、マイクロソフト製品を特別価格で提供する、おトクな「学割」パッケージです。

アカデミック オープンライセンス



- 5ライセンス以上まとまった数の永続ライセンスを特別価格にてご提供するプログラムです。
- 小・中規模の限定的な導入にお勧めです。

サイトライセンス

- スクールアグリーメント
- 大学包括ライセンス



- 非永続的なソフトウェアライセンスを低価格にてご提供するプログラムです。
- 全校規模での一括導入などにご利用下さい。

サイトライセンスの特徴



- 年間契約の非永続ライセンスを提供します。
 - 1年間のライセンス有効期間のみ使用できる非永続ライセンスを提供します。
 - 年度内におけるPC台数や人数の変更は報告の必要がないため、年次の計画的な予算化が安易です。
 - 通常の永続的ライセンスに比べ、安価な価格が設定されております。
- 常に最新のバージョンをご利用いただけます。
 - ご契約期間内は常に最新のバージョンのソフトウェアをご利用いただけます。
 - また、必要に応じて旧バージョンへのダウングレードも可能です。
- 個人使用 PC でも利用可能です。
 - 校内のPCのみでなく、教職員・学生の自宅 PC でも、ご契約内容と同じソフトウェアをお一人様1台までインストールいただけます。
- 包括ライセンス契約の場合、更にライセンスの管理が容易になります。
 - 教職員+学生の人数であり、PC台数の把握が必要ありません。
 - 全学の PC に、もれなくライセンスが許諾されるため、購入漏れの心配がなくなります。

ライセンス比較

項目	大学包括契約	School Agreement	Academic Open
契約単位	学校総人数 (教職員 + 学生)	サイト (学校全体/学部単位/情報センターから選択)	台数
契約条件	教職員数100名以上	10 Licenses以上	5 Licenses以上 (2年以内であれば1L単位での追加も可能)
契約期間	1年間のみ	1年間、3年間、5年間より選択	2年間
使用权	非永続的		永続的
アップグレード	可能 (デバイスごとにバージョン選択可)		不可 (Software Assurance 契約時は2年間有効)
価格帯	大学包括 もしくは School Agreement の5年分 ≒ Academic Open 1ライセンス分		
価格レベル	価格レベルA : 100名~2,999名 (教職員数) 価格レベルB : 3,000名以上 (教職員数)	価格レベルA : 10台~2,449台 価格レベルB : 2,500台以上	設定無し
パッケージ化	Desktop Campus (Office, Windows Upgrade, Core CAL)	Desktop School (Office, Windows Upgrade, Core CAL)	個々に購入のみ

スクールアグリメント 大学包括ライセンスのメリット

ライセンス参考価格

※弊社の製品はオープン価格となっております。



07年12月現在

	SA 3.4 , 包括ライセンス契約 (価格レベル:A)	アカデミック オープンライセンス	アカデミック パッケージ
Desktop Campus Platform (*1)	5,300円/年 2,700円/年 (学生)	—	—
Office 製品	Office Enterprise 3,400円/年 1,700円/年 (学生)	Office Professional Plus 18,600円	Office Ultimate 39,800円 Office Professional 32,800円
Windows Upgrade	Business, Enterprise, Ultimate 1,700円/年 900円/年 (学生)	Business 9,000円	Ultimate 20,800円 Business 25,800円
Core Client Access License (*2)	1,350円/年 800円/年 (学生)	14,500円	—
Visual Studio Professional	1,100円(SA) 300円(CA)/年 600円(SA) 200円(CA)/年 (学生)	11,300円	—
Windows Server 2003	4,800円/年	21,800円	85,800円
Exchange Server 2007	17,200円/年	78,200円	Exchange Server 2003 95,400円
Systems Management Server 2003	8,600円/年	39,000円	—

(*1) Desktop Campus Platform は Office 製品, Windows Upgrade, Core Client Access License の3製品をまとめた製品です。

(*2) Core Client Access License (Core CAL)はWindows Server, Exchange Server, SherePoint Portal Server, System Management Server にアクセスするためのライセンスです。

自宅使用权

教職員様は、ご契約製品をプライベートPCにインストールしてご利用いただけます

- お一人様1台まで
- 大学を退職される際に、本特典でインストールされたソフトウェアはアンインストールが必要

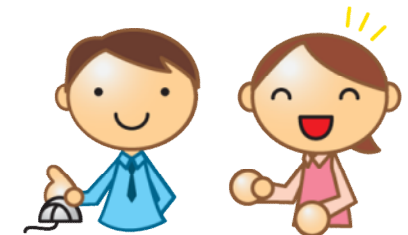
< 参考 >

プライベートPCへインストールしやすい、1台のみアクティベーション可能な Disk Kit (スチューデントメディア)もご用意しております。
このインストールメディアは本使用权が有効な教職員様に配布いただく事が可能です。

スチューデントメディア価格

840円

※ スチューデントメディアとの名称ですが、教職員様にもご利用いただけます。



卒業時譲渡

- 大学包括ライセンス契約校の卒業生は、在学中にインストールした個人PC上のソフトウェアを、卒業後も継続利用できます。
 - － 利用条件
 - 卒業時点で、学校が包括ライセンス契約していること
 - 卒業生のみが利用可 (中途退学, 他学校への転出は不可)
 - 利用可能製品は、卒業時点で卒業生個人所有のPCにインストールされている製品(バージョン固定)のみ
 - － 卒業後の再インストールはできません (バックアップは可)
 - － 卒業後にアップグレード版の購入およびインストールは可能です
 - － 使用許諾
 - マイクロソフトより、学校経由で、卒業生個人に対して使用許諾書を発行 (学校にて必要事項を明記の上、卒業生へお渡してください)
 - 卒業後に学校が契約解除しても、学校から卒業生への契約解約通知は不要。卒業生はそのまま、継続して使用いただけます。



サーバソリューションについて

サーバシステムの導入

多数の教育機関に採用されている、スクールアグリーメントのライセンスパッケージ（デスクトップスクール）を活用する事により、教育機関のシステム基盤となる、ドメイン環境やメールシステム・システム管理ツールといったサーバシステムを低コストで導入可能。ソリューションビジネスの促進に繋がる。

Desktop Platform

- Microsoft Office Enterprise
- Microsoft Windows Vista Enterprise



- **Microsoft Core Client Access License (Core CAL)**

以下のマイクロソフトのサーバー製品にアクセスするためのライセンス

- Microsoft Windows Server
- Microsoft Exchange Server
- Microsoft SharePoint Server
- Microsoft System Management Server

Microsoft®
Core CAL Suite

Client Access License

Core CAL Suiteの活用



Windows Server

Windows Serverを活用しての統合管理

- ・ Active Directory認証
- ・ グループポリシー
- ・ ターミナルサービスを活用してのシンクライソリューション
- ・ Hyper-Vでのサーバ最適化
- ・ 検疫ネットワーク (NAP)
- ・ ファイルサービス



System Center Configuration Mgr

導入から運用管理までのクライアントライフサイクルをWindows プラットフォームにて最適化



Microsoft®
Core CAL Suite
Client Access License

CoreCALを活用した教育機関向け最適化シナリオ

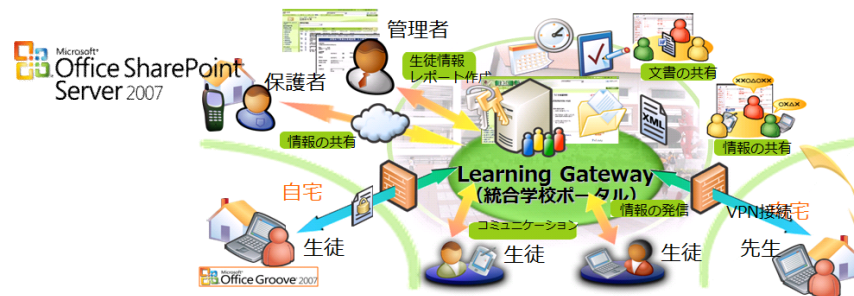
エンタープライズ向けの信頼性・セキュリティ強固なメールシステム

Microsoft®
Exchange Server 2007



Exchange Server

教育機関向け統合ポータルとして、効果的な情報共有・コラボレーションを実現



Sharepoint Server

ライセンス管理の重要性について

包括ライセンス提供の背景

- **2005. 秋**
BSAが、初めて国立大学法人に対する著作権侵害の疑いによる証拠保全の実施
- **2006.2.1**
一部報道機関より国立大学におけるソフトウェアの不正コピーに関する報道
- **2006.02.16**
文部科学省より「コンピュータソフトウェアの適正な管理の徹底について」を通知
- **2006.12. 1** 「大学様向けソフトウェア資産管理キャンペーン」
多数の大学様からの要望に応え、大学様向けソフトウェア資産管理のためのライセンスプログラムをご用意 大学様向けにソフトウェア資産管理キャンペーンを実施（2007.6.30終了）
- **2007.3.29**
私情協 「ソフトウェア適正管理のガイドライン」作成
- **2007.4** 九州大学様 全学包括ライセンス契約を締結
- **2007.7** 改正著作権法の施行 罰則規定の強化
- **2007.11** 「大学様向けソフトウェア資産管理キャンペーン」 リニューアル予定

文部科学省からの通知

文書名	コンピュータソフトウェアの適正な管理の徹底について
年月日	2006/2/16
作成者	文部科学省大臣官房政策課長
送付先	国立教育政策研究所長、科学技術政策研究所長、日本学士院長、日本芸術院長、各国立大学法人学長、各大学共同利用機関法人機構長、各独立行政法人の長、日本私立学校振興・共済事業団理事長、放送大学学園理事長、公立学校共済組合本部理事長
内容	<p>先般、一部の国立大学法人においてコンピュータソフトウェアが大量に不正コピーされているとの報道があったところです。各機関においては、従来よりコンピュータソフトウェアの適正な運営・管理を行っているものと思えますが、このことを踏まえ、下記について各機関で点検・確認等を行い、より一層の適正管理を図っていただくようお願いいたします。なお、文化庁より出されている「大学等におけるコンピュータプログラムに係る著作権保護について（通知）」（庁文著第92号）を別添いたしますので、あわせて参考にして下さい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none">1. ソフトウェア管理台帳等による点検・確認2. 管理体制・管理機能の確認3. 機関内のコンピュータを利用する全ての教職員及び学生への啓蒙活動（なお、本文中に「通知」と表現しておりますが、正式には通知という名称はつけられておりません。）

私情協からのガイドライン

管理責任者の責務は、ソフトウェアのインストールまたは削除、教育、研究、事務でのソフトの適切性判断、ライセンス手続きの正当性の確認と証明書類の保管・照会、管理責任者の許諾を受けていないソフトの点検について全責任を持つ。

れ、所要の対応を検討・実施されることを要請する。

1. 目的

大学としてコンピュータを設置の全教室、研究室、共同研究室、学部・学科の事務室、大学業務担当部局の事務室のソフトウェア使用の管理を調査・点検し、適正利用の実現を推進する。

2. 対象

コンピュータを設置の全教室、研究室、共同研究室、学部・学科の事務室、大学業務担当部局の事務室で、研究室の教員と学生、事務室の職員と臨時職員（嘱託、アルバイト）を対象とする。

3. 管理の内容

コンピュータにインストールされているソフトウェアのライセンスの有無を点検する。適正を欠く使用が発見された場合には学内のしかるべき部署（情報担当部門）でとりまとめ、適正に向けた対応を行う。

4. ライセンス管理の体制・仕組み

① 大学として保有するソフトウェアの管理に関する問題を検討する全学的な委員会組織を設立する。

② 委員会が決定した管理に関するルール（『ソフトウェア管理規程』）に沿ってライセンス管理の点検を統括する組織として、情報センター等の担当部門を定めるとともに、各研究室、事務室単位で使用するソフトウェアの管理責任者を明確にし、センター等部門で管理責任者リストを作成する。教室は学科長、個人研究室は教員、共同研究室は代表する教員、事務室は管理職とする。

③ 管理責任者は、サーバー、パソコンに搭載されている全てのソフトウェアの台帳を常

時備え、半年ごとに情報センター等部門に報告する。その際、領収書の写し、使用許諾証、ライセンス証を添付する。

④ 管理責任者の責務は、ソフトウェアのインストールまたは削除、教育、研究、事務でのソフトの適切性判断、ライセンス手続きの正当性の確認と証明書類の保管・照会、管理責任者の許諾を受けていないソフトの点検について全責任を持つ。

⑤ 情報センター等部門は、報告されたソフトウェア管理の実態について監査を行う。

5. ライセンス管理の点検

- ① ソフトウェア管理の台帳は、インストール管理台帳、ライセンス管理台帳とする。
- ② 台帳には、ソフトウェアの名称、インストールの期日、期限、数量、担当者名、ライセンス契約の種類（正規購入、特別使用許諾、添付ソフト、シェアウェア、フリーウェアなど）および有無を記載する。

6. ライセンス管理の監査

- ① 管理責任者から報告されたソフトウェア台帳と実際にインストールされているソフトウェアの一致を確認するための監査を行う。
- ② 監査方法は、ソフトウェアの使用を管理ツールにより学内LAN上で点検するか、予告なしに現場で点検する。ツールとしては、管理用、端末用を準備する。
- ③ 管理責任者の希望で監査の申し出がある場合には、日時を調整の上、現場で点検する。

7. 不正使用への対処

- ① 大学として適正を回復するためのライセンスの取得を行う。

・ **ライセンス管理の点検を統括する組織として、情報センター等の担当部門を定める。**

・ **教室は学科長、個人研究室は教員、共同研究室は代表する教員、事務室は管理職とする。**

ライセンス管理の体制・仕組

不正コピーに対する学科長、教員のリスク・管理責任が増大

項目	ガイドライン記載内容の抜粋	課題
ライセンス管理の点検を統括する組織	ライセンス管理の点検を統括する組織として、情報センター等の担当部門を定める。	
管理責任者	情報センター等部門で管理責任者リストを作成する。教室は学科長、個人研究室は教員、共同研究室は代表する教員、事務室は管理職とする。	学科長、教員が全責任を負う。
管理責任者の責務	ソフトウェアのインストールまたは削除、教育、研究、事務でのソフトの適切性判断、ライセンス手続きの正当性の確認と証明書類の保管・照会、管理責任者の許諾を受けていないソフトの点検について全責任を持つ。	適切性判断、ライセンス手続きの正当性の確認と証明書類の保管・照会には、多くの時間を費やす。
ソフトウェア管理台帳	インストール管理台帳 ライセンス管理台帳	ソフトウェア管理台帳の維持メンテナンス
報告のタイミング	半年ごとに情報センター等部門に報告する。	

改正著作権法の施行

2007年7月1日施行の改正著作権法により罰則強化

罪となる行為

改正前

改正後

著作権・出版権・著作隣接権の侵害（私的複製の例外違反、輸入・頒布（輸出）・プログラム・権利管理情報・還流防止対象レコードに係るみなし侵害を除く。）

5年以下
500万円以下

10年以下
1,000万円以下

第119条第1項若しくは第119条第2項第3号、4号【新設】又は第122条の2第1項の罪

1億5千万以下

3億円以下



情報基盤本部

- ・研究室内のPCは、何台あるのかさえ把握できないのに、ソフトウェア管理台帳作成なんて不可能。
- ・ツール導入しても膨大なコストが発生する。
- ・人界戦術での調査はさらに膨大な人件費が発生する。
- ・ソフトウェア台帳を作っても、メンテナンスコストがかかるし、実態との乖離が...



教員(研究室・ゼミ)

- ・不正コピーに対するリスクが大きすぎる。
- ・学生個人が起こした問題でも、管理責任を問われる。
- ・本来の目的である研究・講義の時間が割かれる。
- ・証明書類の保管だけでも大変。
- ・管理する時間に多くの時間を費やす。
- ・補助金申請があるので、大学で一括してソフトウェアを購入した方がいいかもしれない。

大学包括契約で解決！

- ・ 大学包括契約は、人につくライセンス
教職員数+学生数でご契約頂きますので、PCの台数、既存ライセンスの把握、持込みPCへのライセンス提供の必要性はといった心配の必要ありません。(契約MS製品のみ) 大学所有のPCであれば、何台使用しても不正コピーにはなりません。
- ・ ソフトウェア台帳が不要
ソフトウェア資産台帳が形骸化しても不正コピーの心配はございません。
- ・ 教員の方々の管理リスクを回避
管理責任者を情報センターとする事で、研究室・ゼミでの教員の方々のリスクを回避できます。
- ・ 証書1枚で、ソフトウェアの適切性を証明
多くの証明書類の保管・管理の必要ありません。大学全体でのご契約となるため1つの契約書を見せれば、ソフトウェアの適切性が証明できます。

ソフトウェア（MS）に係る管理工数が大幅に削減されます

パッケージ、Academic、Openライセンス管理




● 購入ライセンスごとの管理

- 所有ライセンス管理
- バージョン管理
- 所有ライセンスの使用状況管理
- 使用者とライセンスの紐付け



包括契約ライセンスのご利用



● 教職員・学生数の管理のみに集約

- 所有ライセンス管理 → 不要
- バージョン管理 → 不要
- 所有ライセンスの使用状況管理 → 不要
- 使用者とライセンスの紐付け → 不要
- 使用者とライセンスの紐付け → 不要

Microsoft[®]

Your potential. Our passion.[™]